

300名が秋の位山を快走



國島市長のスタートの合図で一斉に走り出すランナー達。

雨にも負けず第2回飛驒位山トレイル

一之宮まち協だより

第41号

平成29年11月1日

一之宮町
まちづくり協議会
広報部

高山市一之宮町3087
電話 53-2424

台風接近が報じられ悪天候も予想された10月21日、第2回飛驒位山トレイルが開催されました。

コースは、位山往復の12kmと位山(川上岳)を往復する32kmに約300名、そして今回新たにまち協が行うファミリーコースには約100人の参加者がありました。

当日の朝は奇跡的に降雨がなく、午前中は位山、川上岳から雲海の先に飛驒山脈や白山が望めました。折からの紅葉もあり、ランナーは坂道にあえぎながらも景色を楽しんでいました。

昼頃からは時折雨が降り、数日来の雨も手伝ってコースはさながら泥んこ遊び場のようになり、転倒する方も続出。しかしそこはランナーも予想して参加していることもあり、楽しみながら走り、エイドなどではランナー同士ぬかるむコースについて楽しそうに語らっていました。

地元実行委員会メンバーなどをはじめ、遠く岐阜、名古屋から駆けつけたボランティアにより、会場係、コース係、エイド係などに分かれ、悪天候の中の大会運営を支えました。また、中学生は大会運営補助とブラスパンド演奏、小学生は応援カード作成、保育園児はダンスの披露と入賞メダル作成など、様々な面で関わった大会となりました。(中島)

宮 再発見!

位山遊びの散歩道

眺望よく自然にあふれた遊歩道

「あ、あったー!」「おかあさん、早く早く」「ねえこの字読んでー」和気あいあいと親子連れ等の和やかな様子が目に入ります。10月21日に開催された第2回飛驒位山トレイルと同時間開催の「ファミリーコース」でのひとコマです。

このコースはトレイル応援の町民や選手家族等のみなさんが、選手をゴールで迎えるまでの空き時間も滞在して楽しめるようにと、共催事業として実施されました。

ところで「位山遊びの散歩道」ってご存知ですか?平成19~20年度にモンデウススキー場周辺で整備された合併記念公園の中のひとつで、県道をはさんでスキー場の向かい側の山にある約0.5kmの遊歩道で



クイズ箇所立ち止まって考える子ども達

す。途中には楽しい木製遊具がいろいろあり、頂上にあるあずま屋からは乗鞍岳や山下地区も眺められます。

自然にあふれた良い散策コースですが、地元の方には意外と知られていないため、一之宮の「宝」を町民の方に知っていただくこと、スポーツ推進員が中心となり今回企画。当日は親子連れや友だち同士など102名もの方が参加し、予想を上回る大勢の参加者に関係者一同大喜びでした。

参加者はみんなゼッケンを着け、さながらトレイル大会選手のように!コースはクイズラリー形式で、一之宮町を題材にした問題が10か所設置されており、それがまた子どもたちの興味を引いたようでした。我先にと走っては問題を見つけ、後から付いてくる大人を大声で呼び、一緒に問題文を読んで考え、それは楽しそうに回っていました。

山頂あずま屋ではエイドステーション模擬体験の「お菓子のつかみ取り」も大人気!大にぎわいでした。

これを機に、一之宮の新しい散策スポットとして定着してほしいものです。(支所 深澤)

一筆 啓上 気ままにエッセー

昨年引き続き、第2回飛驒位山トレイルに出走しました。

昨年は後半に両足が攣つて、やつの思いで完走しましたが、今回は一週間後にフルマラソンの出走を予定していたこともあり、ペース配分を考えて余裕を持って走るつもりでした。

しかし、台風の接近で小雨が降る中、滑りやすい状態で足元はドロドロになり、何度も転びそうになりながら走りました。思っていた以上に体力を消耗し、登りがある度に心が折れかけました。

特にツメタ谷の大イチイからの登りは本当に苦しいコースで、苦しい、止めてしまいたい、と思いましたが、なんとか気合いで乗り越ええました。後半は雨が強くなり寒さとの戦いもありましたが、止まったらもっと寒くなると思いつきました。

そんな苦しく辛い状況でも、雲海から望む山々、紅葉し始めた木々、天空遊歩道が目に入ると思わず「おー」と感嘆の声がもれ、地元こんな素晴らしい景色、自然がある事を再認識しました。

しかし、一番の励みになったのは、各エイドステーションでの温かい声援、中学生とのハイタッチでした。エイド以外での待機・応援も力になり、特に最終位山山頂での、雨の降りしきる中でのおたけさんの方、中学生の応援で、へとへとだった体力が張り走り出すことができました。そこからの道のりは、逆に楽しい



気持ちになり、ぬかるんだコースをリズム良く走破する爽快感を感じる程でした。さすがに

にモンデウスのグレンデを下る際は、気持ちとは裏腹に足に力が入らず、自分の体を支えるのがやつとで、最後の緩やか登りでは歩くのがやつとの状態でした。ゴールに近づくとつられて、会場からのアナウンスや声援が聞こえ始め、最後の力を振り絞って走り、何とかゴールする事ができました。

飛驒位山トレイルに出走して

今回の飛驒位山トレイルも苦しく、辛いと思う時が多々ありましたが、トレイルは困難を乗り越える事が醍醐味で、自分に打ち勝って完走できた事、これが何よりの喜びです。さらに天気が悪かった事で、乗り越えた喜びは大きくなりました。天気が良かったらもっと楽に、そしてまた違った景色を望む事が出来たかもしれません、ネガティブに考えるのではなく、変化を受け入れる気持ちが大切だと思います。これはトレイルだけではなく日々の生活でも私が大事にしたいと思っている事です。今回も無事に完走できたのも運営に携われた方々のおかげです。深く感謝致します。



果敢とした笑顔の澤田さん

話題のさんぽ路

秋の位山は魅力がいっぱい

10月8日の日曜日、晴天にも恵まれ、「位山ふれあいの里」主催の「秋の位山へ行こうの会」が行われました。中島照雅講師をガイドに、蔵柱登山口から位山に登ってきました。



中島さんによる説明を聞く参加者

一之宮町の水源地になっている蔵柱、きれいな水が流れ落ちる場所です。澄み切った水を飲み、岩の間から聞こえてくる水の音に耳を澄ませました。また、その辺りにはイチイの巨木があります。天皇が即位される時に贈られるという笏の原料となるイチイ。また、炭焼きが行われたという窯跡、その当時焼かれた炭のかけらが今も残っているのを見ました。その後、スキー場からの尾根道に上がり山頂を目指し、途中でモンデウスサクランブリア特製のこけご飯の昼食をいただきました。山頂付近では、ドウダンツツジは赤く、ブナも黄色く紅葉し、ナナカマドの赤い実、赤く大きな葉をもつヤマブドウなどが、きれいでした。登山道も笹を刈ってきれいにしており、登頂しやすく、水温あてや木の高さのゲームなどもあり、楽しく秋の1日を満喫してきました。帰りは、馬の放牧跡を見たり、アカマツ、ゴヨウマツを比較したりしながらスキー場へ降り、そこでは、銀色に光るスキヤカリヤスが迎えてくれました。家族で参加された人もみえ、子供も元気に長い道を歩ききっていました。久しぶりのスキー場側への位山道で、昔登った頃とみると、木々が大きくなっている時を感じました。来年度は「位山ふれあいの里」主催でこのような行事をいくつか開催したいと岩野照和責任者が話してみえました。皆さんも一之宮町の季節を感じてみませんか？(山腰)

頑張ってます！

地元で頑張っている若い人にスポットをあてて紹介します

問坂 ありさ さん 《問坂下》

●「出身は？」
山口県山口市湯田温泉です。

●お仕事は？
病院事務をしています。

●趣味は？
ものづくり。
料理、BBQも年中やっています。



北海道大倉山スキー場にて

●地元の好きなところは？
宮は自然豊かで食べ物美味しいです。地域の人の関わりが強くみなさんに助けられています。

●これからやってみたいことは？
たくさんあります。やりたいと思ったら迷わず挑戦したいです。

●「宮」へ一言
田舎の良さは変わらず、自然豊かな穏やかな町であってほしいです。

位山旬会作品より (十月旬)

一捺跡蔭のざわめく鬼川原 しき
分水嶺霧乳色に道祖神 教子
心ばへ軽く一日を紫苑晴れ 喜栄
敗荷や老いの古傷寄りて 清子
豊の秋見下ろす位置や道祖神 八重子
秋日和風に広がる太鼓の音 基子

図書館案内



秋の夜長は読書にぴったりの季節です。温かい飲み物を片手に、ゆったりとした時間を楽しみませんか？

★図書館フェスティバル in 一之宮分館
外国語絵本展を11/3（金）まで開催中です。
『ぐりとぐら』、『おおきなかぶ』など日本語版と外国語版とを見比べていただける絵本もございます。身近な図書館で外国語絵本をぜひ手にとってみてください。

＜今月の特集＞

★「ていねいな暮らし」

生活を楽しむ工夫が盛りだくさんな暮らしの知恵を紹介します。

＜おはなし会のご案内＞

11月18日（土）午前10時30分～ スタッフによる絵本の読み聞かせ・手遊び。申し込みは不要です。お気軽にご参加ください。

【予告】一之宮分館 おはなし会スペシャル

日時：12月2日（土）午前10時30分～
場所：一之宮公民館 和室
内容：お話玉手箱さんによる楽しい絵本の読み聞かせ・簡単な工作。

11～12月行事予定

11月

- 3日～5日（金～日）一之宮文化祭
- 7日（火）宮小中合同PTA講演会
- 10日（金）地域別市民意見交換会
- 11日（土）サタディサークル
- 12日（日）まち協文化研修旅行
- 14日（火）公共施設のあり方考える会
- 17日（金）まち協認知症講座
- 20日（月）町内会長会
- 20日（月）中国語講座
- 22日（水）ハーバリウム講座

12月

- 9日（土）サタディサークル
- 20日（水）町内会長会
- 29日～1月3日 公的施設、まち協業務休業

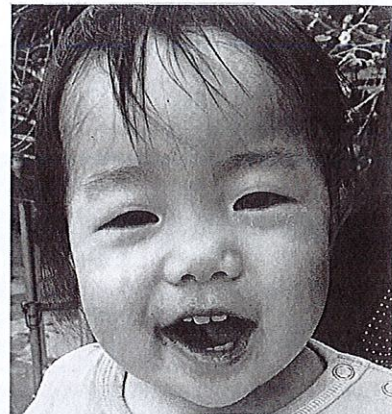
ぼくのなまえ☆わたしのなまえ

かほ
葉帆ちゃん 平成28年1月12日生まれ

お父さん：山下 奨太さん《山下》
お母さん：山下 愛さん《山下》

私達のもとへ、三女としてうまれてきてくれました。

「葉」という字は道しるべの意味から、人生の道に迷わず一步一步進んでほしい、「帆」という字は夢という帆を大きく広げて進んで行ってほしい、という願いを込めて「葉帆」と名付けました。
毎日よく食べ、元気な葉帆ちゃん。



いつもみんなその笑顔に癒されています。これからお姉ちゃんたちと仲良く、たくましく成長してくれることを願っています。

お知らせ

■「不用雑誌・図書リサイクルのお知らせ」

保存期限が過ぎた雑誌、不用となった図書を無料で提供します。

◆期間：11月1日（水）午後1時～3日（金・祝）午後5時

◆リサイクル資料を持ち帰るための袋を持参してください。

◆資料が無くなり次第、終了します。

■今月3日・文化の日 公民館に集まろう！

芸能発表、作品展示、収穫祭（農産物販売、バザー） 多彩な催しがいっぱいの一之宮町文化祭を開催します。

今月3日から5日まで一之宮町文化祭が公民館周辺で行われます。楽しい内容が盛りだくさんあります。町民のみならずのご来場をお待ちしています。

◆芸能発表・収穫祭

日時：11月3日 午前9時～午後3時（収穫祭は3時30分）

会場：一之宮公民館、同駐車場

◆作品展示

日時：11月3日～5日 午前9時～午後5時 ただし5日は午後4時

会場：飛騨位山文化交流館

詳しくは今日（1日）折込みのチラシをご覧ください。

■認知症講座のお知らせ

認知症について正しく学んで適切な対応をしようと、まち協福祉部では認知症講座を開きます。ぜひご参加ください。

◆日時：11月17日（金）午後7時30分

◆会場：一之宮公民館

◆講師：ディサービス八光苑

■PTA講演会のご案内

すべての子が地域で輝きながら共に生きるために。講演会で共に考えましょう

◆日時：11月7日（火）午後7時

◆会場：一之宮公民館

◆講師：谷倉祐二氏（飛騨子ども相談センター）

加藤豊弘氏（学校心理士

元宮小校長）※ 赴任当時の宮小の風景も紹介されます。

■公的施設説明会

これからの公共施設のあり方について共に考えましょう。

市が保有する建物や道路などについて今後どうあるべきかをワークショップ方式（少人数による意見交換）で考えます。

※ 事前申込みが必要です（書面か電話で）

◆日時：11月14日（火）午後7時

◆会場：一之宮公民館

申込みは支所（53-2211）まで

年齢	男性	女性	合計	前年増減
0～14歳	170	157	327	-7
15～64歳	681	697	1,378	-18
65歳以上	342	484	826	+9
合計	1,193	1,338	2,531	-22
世帯数	825戸			+7

平成29年10月1日現在

一之宮町の人口情勢（人）

つばやき・・・
先日の飛騨位山トレイルで、コース係（移動観察）として位山と川上岳の間に待機し、ランナーの皆さんを見送っていました。
多くのランナーは苦しそうではありながら、「ガンバ！」「ナイスラン！」と声を掛けると笑顔でピースサインを返してくれました。
後半位山エイドにいましたが、残念ながら関門時間に間に合わないランナーが数名いらっしゃいました。がっかりして落ち込んでいたところ、思いきや、「あーめっちゃややくやしい！また来年挑戦しよう！」と意外と明るい様子。他のランナーと、大イチャイの登りの厳しさの話題などで盛り上がりつつありました。
私も体がまだ動くうちは、挑戦する心を失わないでいたい、そんな元気をいただいた一日でした。（中島）

ワイン講座開催 ルーマニア産でほろ酔い

まち協・文化教養部主催の「ワイン講座」が、11人が参加して9月29日に開かれました。講師は久々野町で酒屋を営みながら、各地でワイン講座を開いている坂本雄一氏。

今回は、普段あまり飲む機会がないルーマニア産ワインがテーマです。講師の坂本先生が今年の6月にルーマニアを訪れた時の話を元に、この国の地理と歴史やワインの質を左右する地質や土壌などの解説を聞きながら、長いワイン作りの歴史があるルーマニア固有種の葡萄で出来た数種類のワインを試飲しました。



講師の話聞く参加者

都市のシビウ市の近くで生産されたワインもあり、遙かな東欧のルーマニアに思いを寄せ、ほろ酔いの夜を楽しみました。(伊藤)

文化遺産巡り

今年も段で開催

わが町の文化遺産巡りが10月21日に、今年も段地区を会場に行われ、子ども10名を含め47名が参加して巡りました。遺産巡りでは、段地区の住民の方々に、段の今昔話や農業の話、徒歩で通学した苦労話など興味深い話を話してもらい、また、段地区に伝わる民話の朗読や紙芝居もありました。

「いちのみやクラブ」からは、段地区の縄文遺跡や位山古道の歴史に関わる話がありました。帰りは、問屋敷跡や位山古道の一部を歩いて往時を偲びました。

一之宮町には、知られていない文化遺産がたくさんあります。これらの「レガシー」を後世に伝えていく覚悟が必要と強く感じるイベントでした。(伊藤)

台風18号の強風

臥龍桜被害被る

9月17日から18日に掛けて、飛騨地方を襲った台風18号は、大雨の被害はなかったものの、強い風による被害をもたらしました。

国指定天然記念物の臥龍桜は、大きな枝3本をはじめ多くの枝が折れ、枝を支える支柱5本も倒れました。臥龍桜は平成3年の台風19号で大きな被害を受けましたが、それ以降では一番ひどい被害を受けたとみられます。

高山市文化財課では、臥龍桜の保護にずっと携わっておられる林進名誉教授(岐阜大学)の指導の下、折れた枝の傷口保護作業を進め、今後支柱の見直し・再設置を進めるとのことです。

みなさんも、ふるさとの名桜・臥龍桜のお見舞いに行っていただけばと思います。(中島)

宮中駅伝部が飛騨地区6位で県大会出場

高山市駅伝大会が10月7日に中山公園陸上競技場周辺で開かれ、宮中男子駅伝部が見事3位に入りました。一週間後の14日に開かれた飛騨地区大会では6位に入賞し、今月11日に開かれる県大会の出場が決まりました。

なお、女子は高山、飛騨地区とも10位でした。宮中では常設の駅伝部はなく、選手は他部からの選抜で構成され、学校代表として練習に励んできました。

男子の県大会出場は3年連続で、昨年は5位と素晴らしい成績を残しました。



目標の成果を生かし軽快に走る選手

今年の健闘を期待したいと思います。

町民スポーツフェスで軽スポーツ楽しむ

町民スポーツフェスティバルが10月1日に宮小学グラウンドで行われ、グラウンドゴルフを中心に楽しみました。

この日は高山市の各地でスポーツフェスティバルが開かれ、一之宮町ではまち協体育部が軽スポーツを中心に企画しました。

グラウンドゴルフ終了後は宮小体育館でベタンク、キンスポール、ユニカール、パランスポール、またグラウンドではターゲットボードゴルフなどの軽スポーツ教室が行われました。



子どもも参加して楽しめました

秋晴れの中参加者たちは、いろいろなスポーツを楽しみながらいい汗を流しました。(中畑)

文化遺産巡り

今年も段で開催

わが町の文化遺産巡りが10月21日に、今年も段地区を会場に行われ、子ども10名を含め47名が参加して巡りました。遺産巡りでは、段地区の住民の方々に、段の今昔話や農業の話、徒歩で通学した苦労話など興味深い話を話してもらい、また、段地区に伝わる民話の朗読や紙芝居もありました。

「いちのみやクラブ」からは、段地区の縄文遺跡や位山古道の歴史に関わる話がありました。帰りは、問屋敷跡や位山古道の一部を歩いて往時を偲びました。

一之宮町には、知られていない文化遺産がたくさんあります。これらの「レガシー」を後世に伝えていく覚悟が必要と強く感じるイベントでした。(伊藤)

台風18号の強風

臥龍桜被害被る

9月17日から18日に掛けて、飛騨地方を襲った台風18号は、大雨の被害はなかったものの、強い風による被害をもたらしました。

国指定天然記念物の臥龍桜は、大きな枝3本をはじめ多くの枝が折れ、枝を支える支柱5本も倒れました。臥龍桜は平成3年の台風19号で大きな被害を受けましたが、それ以降では一番ひどい被害を受けたとみられます。

高山市文化財課では、臥龍桜の保護にずっと携わっておられる林進名誉教授(岐阜大学)の指導の下、折れた枝の傷口保護作業を進め、今後支柱の見直し・再設置を進めるとのことです。

みなさんも、ふるさとの名桜・臥龍桜のお見舞いに行っていただけばと思います。(中島)

宮小6年生が川をきれいにと清掃活動

宮小6年生が「自分たちの住んでいる地区の川をきれいにしよう」と発案し、10月20日に宮川などで清掃活動を行いました。

宮小では5年生時に源流の里である自分たちの地域について川を中心に学びます。6年生は5年生の時から学んできたことを実践しようと、地域にも働きかけて実施したものの、PTAや長寿会など地域からも8人が参加し一緒に行いました。

最近、宮川や常泉寺川でのゴミが問題になっていますが、

子どもたちのこうした活動が地域全体に広がり美化につながることを願いたいと思います。



橋の下でゴミを拾う6年生